



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1  
www.aioinissaydowa.co.jp

## 地域の危険箇所を表示する「交通安全マップ」に 自動車の交通量を追加し、民間事業者へ提供

2023年3月31日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、2022年4月より地方公共団体に提供している「交通安全マップ」<sup>※1</sup>について、2023年4月より自動車の交通量を新たに可視化し、民間事業者への提供を開始します。

第一弾として、2023年4月の改正児童福祉法等により、保育施設で実施する散歩などの園外活動においても安全計画の策定が義務付けられることを受け、保育事業者へ「交通安全マップ」の提供を実施します。

※1 自動車の急ブレーキ・急アクセルといった危険挙動発生件数を各地点の交通量で除して「危険挙動発生数率」を算出し、最小約120mメッシュで地域の危険箇所を可視化している当社が開発した地図

### 1. 背景

当社はテレマティクス自動車保険<sup>※2</sup>のパイオニアとして、2018年よりテレマティクス自動車保険の販売を開始し、2022年12月末時点で地球約238万周分の自動車走行データを蓄積しています。この膨大なデータを地域・社会の課題解決に活用するため、交通量に対する危険挙動発生率や車両の振動回数等を地図上に可視化して地方公共団体に提供し、交通安全対策や路面補修計画の立案から実行までを支援する取り組み<sup>※3</sup>を2022年から開始しています。

今般、蓄積された膨大な走行データに、最先端プライバシー保護技術<sup>※4</sup>を組み合わせることで個人情報を含まない形で当社データに基づいた交通量を可視化することが可能となったため、第一弾として、安全計画策定の義務化に伴い交通量の確認等が求められる保育事業者向けに、新たな「交通安全マップ」を提供することとしました。

※2 テレマティクスとは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み

※3 詳細は以下ニュースリリースをご覧ください。

[https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news\\_2022070501040.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022070501040.pdf)

[https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news\\_2022042700994.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022042700994.pdf)

※4 詳細は以下ニュースリリースをご覧ください。

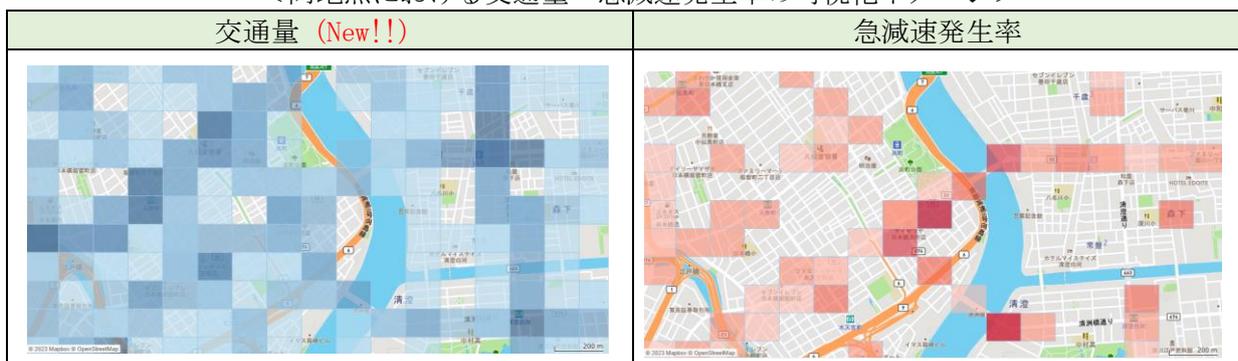
[https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news\\_2022063001036.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022063001036.pdf)

### 2. 概要

#### (1) 「交通安全マップ」への交通量可視化について

交通量を5段階に分けて、約120mメッシュの地図上に可視化します。濃色になるほど交通量が多い地域となります。

<同地点における交通量・急減速発生率の可視化イメージ>



## (2) 保育事業者への交通安全マップ提供について

2023年4月から保育施設で策定が義務付けられる安全計画では、散歩等の園外活動の際、使用する経路や目的地を選定するにあたり、自動車の交通量や事故が発生しやすい危険箇所の確認等が求められています。そこで、当社が従来より地方公共団体に提供している交通安全マップについて、保育施設から半径約700mの範囲で交通量を新たに可視化し、急減速発生率と合わせたレポート形式で保育事業者に無償提供します。

第一弾として、保育施設を171施設運営している株式会社グローバルキッズへ提供します。

## 3. 今後の展開

より多くの保育施設の安全計画策定に貢献していくため、交通安全マップで選択できるメッシュのパターンを増やしていくことを検討していくほか、地域・社会の課題を一層解決していくため、保育事業者以外の幅広い事業者に対しても交通量を可視化した交通安全マップの提供を目指していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

